

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷転載禁止》

レジメン番号： GAST-144

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
胃がん (CLDN 18.2陽性か つHER2陰 性例)	Zolbetuximab +mFOLFOX6	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet.2023;401:1655-68 SPOTLIGH試験

〈注意事項/備考〉

- ✓ 原則として、皮下埋め込みポートより投与
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO₂モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 初回に恶心・嘔吐症状が高頻度に発現するため、前投薬および支持療法を必ず行う
- ✓ 投与速度により恶心・嘔吐の発現が増加するため、恶心嘔吐の忍容性をみながら投与速度を上げる(投与速度は投与量により規定された速度に従う)
- ✓ Zolbetuximab(ビロイ) Infusion reactionに注意(初回前投薬は必須ではない、当院ではボララミン注使用)
- ✓